



福岡県医発第2255号(地)

平成26年11月14日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

エボラ出血熱疑い症例の発生及び啓発ツールについて

既に報道等でご承知のとおり、11月7日にリベリア滞在歴のある60歳代男性が38度以上の発熱症状を訴え都内の医療機関を受診し、その後国立感染症研究所において遺伝子検査したところ、エボラウイルスの反応は「陰性」でありました。

同日、ギニアから関西国際空港に到着・入国後に発熱症状が確認された20歳代の女性につきましては、国立感染症研究所において遺伝子検査の結果、同様に「陰性」であることが確認されました。

エボラ出血熱に関する対応につきましては、重ねてお願いしているところですが、検疫を通過してエボラ出血熱の疑い患者が一般の医療機関を直接受診する可能性も否定できないことから、各医療機関におかれましては、以下の対応の徹底をお願い申し上げます。

- (1) 発熱症状を呈する患者には必ず渡航歴を確認すること。
- (2) 当該受診者について、発熱症状に加えて、ギニア、リベリア又はシエラレオネの過去1か月以内の滞在歴が確認できた場合は、エボラ出血熱の疑似症患者として直ちに最寄りの保健所に届け出て、当該医療機関では検体の採取等を行わないこと。
- (3) 上記3国の過去1か月以内の滞在歴を有し、かつ発熱症状を呈する患者から電話の問い合わせがあった場合は、当該患者に対し、最寄りの保健所へ連絡するよう指導すること。

また、厚生労働省において、医療機関の受付・待合室で使用するための啓発ツール「渡航歴確認シート」が作成され、一般医療機関用ポスターの作成も今後予定されている旨、日本医師会より別添のとおり連絡がありました。なお、完成次第、日医雑誌同封にて会員宛て送付されるとのことです。

つきましては、貴会におかれましても本件につきましてご了解いただき、貴会会員に対し、上記対応の徹底及び啓発ツールの活用について周知方よろしくお願いいたします。

(地Ⅲ209F)

平成26年11月13日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

小 森 貴

エボラ出血熱に関する啓発ツールについて

「エボラ出血熱の国内発生を想定した医療機関における基本的な対応について」は、平成26年10月24日（地Ⅲ190）をもって貴会宛お送りいたしました。

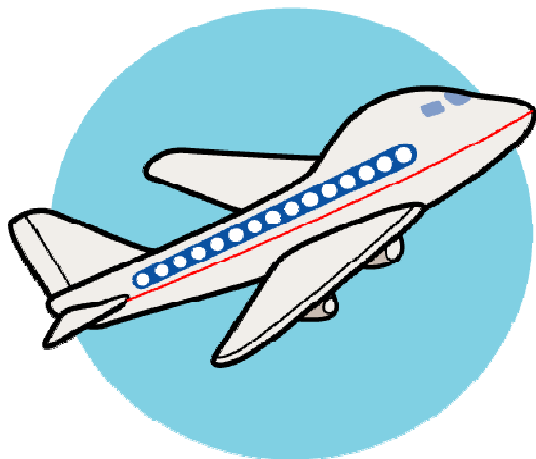
今般、厚生労働省において、医療機関の受付・待合室で使用するための「渡航歴確認シート」が作成され、同省HP（<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ebola.html>）に掲載されましたので情報提供いたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会、関係医療機関等に対する周知方について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、同省において本資料とは別に一般医療機関用ポスターの作成を計画しており、完成次第、日医雑誌に同封予定でありますことを申し添えます。

西アフリカへの渡航歴はありませんか？

ギニア、リベリア又はシエラレオネに、
過去1 か月以内に渡航された方は、
必ずお申し出ください。



西アフリカでの**エボラ出血熱**の
発生が続いています

皆様のご協力をお願いいたします

西アフリカへの渡航歴はありませんか？

ギニア、リベリア又はシエラレオネに、
過去1 か月以内に渡航された方は、
必ずお申し出ください。



西アフリカでの**エボラ出血熱**の
発生が続いています

皆様のご協力をお願いいたします

西アフリカでのエボラ出血熱の発生が続いています

西アフリカへの渡航歴
はありませんか？

ギニア、リベリア、
シエラレオネに
過去1 か月以内に
渡航された方は、
必ずお申し出ください

皆様のご協力をお願いいたします



西アフリカでのエボラ出血熱の発生が続いています

西アフリカへの渡航歴
はありませんか？

ギニア、リベリア、
シエラレオネに
過去1 か月以内に
渡航された方は、
必ずお申し出ください

皆様のご協力をお願いいたします

